

平成30年7月27日

平成30年度第1回
いわき市食育推進委員会議事録

平成 30 年度第 1 回いわき市食育推進協議部会 議事録

1 開催日時： 平成 30 年 7 月 27 日（金） 14：00 ～ 16：00

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3階 健康指導室

3 食育推進委員会について

事 務 局	<p>(今後のいわき市食育推進委員会について説明)</p> <p>○会議資料 1-1, 1-2、参考資料により</p> <p>今年度から保健所総務課で行っている「健康いわき 21」を中心とし、健康増進という立場から、より広く保健医療・福祉へ携わり、保健所事業として総合的かつ包括的に推進していくことから、それらを包括する「いわき市保健医療審議会」を総合的な審議を行う場とし、現在の「いわき市食育推進委員会」を「いわき市保健医療審議会」の専門部会として、「いわき市食育推進協議部会」を設置することとし、第 3 次食育推進計画策定について、いわき市食育推進協議部会の協議後、「いわき市保健医療審議会」で取りまとめ、総合的な審議を行うこととする。</p>
-------	--

4 議事案件及び発言内容等

(1) 議事（報告事項）

① 平成 30 年度食育関連事務事業等について

委 員 長	<p>はじめに、「平成 30 年度食育関連事務事業等について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(平成 30 年度食育関連事務事業等について説明)</p> <p>○会議資料 2-1、2-2、2-3 により</p> <p>本市及び県の関係課等で実施している食育関連事務事業について、平成 30 年度事業が 51 事業のうち、46 事業が継続事業、1 事業が新規事業、2 事業が見直し事業、2 事業が廃止事業となった。</p> <p>今年度の食育推進事業について、前年度と比較して、事業数が多くなっていることを説明した。</p> <p>また、関係団体等で実施する食育に関するイベント等について、平成 30 年度から開始した新規イベントの説明をした。</p>

委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

② 食育講演会について

委員 長	続いて、「食育講演会について」事務局より説明をお願いします。
事 務 局	(食育講演会について説明) ○会議資料3により 食育講演会について、今までは食育フェスタとして開催していたが、福島県で11月3、4日に健康フェスティバル(仮)がいわき市で行われ、今年度は2つの食育に関するイベントを考えていることから、食育フェスタ内で行っていた食育講演会のみを9月に行うこととした。
委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員 U	食育講演会では、託児はあるか？
事 務 局	現段階では、考えていない。
	(質問、意見等なし)

③ 「いきいき iwaki 食育・健康サポート隊」推進事業について

委員 長	続いて、「「いきいき iwaki 食育・健康サポート隊」推進事業について」事務局より説明をお願いします。
事 務 局	(「いきいき iwaki 食育・健康サポート隊」推進事業についてについて説明) ○会議資料4により ・いきいき iwaki 食育・健康サポート隊については、資料4の3Pの別表基準を満たしている店について、「いきいき iwaki 食育健康応援店」として、登録しているが、今年度の国会で健康増進法の改正があり、受動喫煙防止対策が東京オリンピック・パラリンピックに向けて強化されている所である。また、福島県においても受動喫煙対策を行い、今年7月13日に「空気のきれいな施設、空気のきれいな車両」認証制

	<p>度を創めたことにより、中核市である福島市、郡山市、いわき市でも認証制度を進めていくこととし、「いきいき iwaki 食育・健康サポート隊」の中で進めていた受動喫煙防止対策と重複することから、サポート隊で設定していた受動喫煙防止対策の箇所を削除した。</p>
委員長	<p>事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>
委員 G	<p>自分の店は「いきいき iwaki 食育・健康サポート隊」として、登録しているが、受動喫煙防止に関して、新基準だと全面禁煙のみとなるのか。</p>
事務局	<p>全面禁煙としている飲食店には、「空気のきれいな施設、空気のきれいな車両」認証制度への登録をお勧めしている。</p> <p>今後は、法改正の内容に関して、ご案内したいと考えておりお知らせの方法は検討中である。</p> <p>2020年4月から国の法に沿った対応となる。</p>
委員 G	<p>敷地内も禁煙となるのか？</p>
事務局	<p>飲食店については、敷地内禁煙にしなければならないものではない。</p> <p>法改正後の詳細については、厚労省でガイドラインを作成しており、約3～4ヶ月かかる見込みとなっていることから、ガイドラインが出された後に事業者へ周知できるよう考えている。</p>

④ 食育に関するアンケート調査結果について

委員長	<p>続いて、「食育に関するアンケート調査結果について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(食育に関するアンケート調査結果について説明)</p> <p>○会議資料 5-1, 5-2, 5-3 により</p> <p>いわき市民の食生活や運動習慣などの生活習慣に関する状況や食育に関する知識を知る目的でアンケートを実施した。</p> <p>(資料 5-1 のアンケート結果の概要について、説明した。)</p> <p>これと併せて、平成 28 年度の食行動実態把握調査を福島県主催で行われ、いわき市全体を 1 つの町の数値を使用しているので、母数としては、かなり低いものであるが、本市の傾向としては、お味噌汁や漬物等による塩分の摂取が県平均より高くな</p>

	<p>っており、アンケートにおける塩分摂取について、適正量であると考え市民の割合が 37%であることを考えると、塩分摂取に係る意識と実情について、乖離がある。</p>
委員長	<p>前年度も同じようなアンケートを行っていたか？</p>
事務局	<p>第2次食育推進計画策定時の平成 25 年に実施しており、毎年に行っていない。</p>
委員長	<p>思春期世代で、福島県立高校 1 校のアンケートとあるが、複数の高校で実施したほうが、偏りのない平均的な数値となったのではないか。</p>
事務局	<p>前回の食育推進計画策定時における思春期のアンケートは、無作為抽出で実施したが、回答率が低かったことから、今回は福島県立高校 1 校で実施した。</p> <p>ただ、1 校限定では平均的な数値として捉えられるか疑問であるので、次回アンケート調査についての検討材料としたい。</p>
委員 O	<p>今回のアンケート調査の集計について、HP 等で公表するのか。</p>
事務局	<p>今日の食育推進協議部会で委員の皆様のご了承をいただければ、HP に載せていきたい。</p>
委員 O	<p>アンケート調査の結果については、皆様に報告し、世代の朝食等の欠食状況などをお伝えすることは大切ではないか。</p> <p>食事に関して子どもには食べさせるが、自分は食べない親がいるとか、お酒やたばこ等も絡ませて、ここまでのデータがあるのであれば、市民の皆さんに報告し、食育に関して良くしていきましょうという働きかけをすれば、いわき市はもっと良くなるのではないか。</p>
委員 G	<p>現在、本市の魚離れが進み、食に関する現場では、アニサキスによる食中毒が発生した件により、サンマ、カツオやイカを食べないようにしていると聞いている。また、魚屋でも売れ行きが非常に悪いということもあることから、その辺りも含めて保健所の考え方を教えてほしい。</p>
事務局	<p>食中毒は別の部署となるので、十分な説明は出来かねるが、まずは、しっかり加熱することで問題はない。また、アニサキスであれば、24 時間以上の冷凍で召し上がれる。市民の方からの調理等で寄せられた質問であれば、適切な方法をお教えして、安全に食べていただけるというような助言はできる。</p> <p>今後はアニサキスを必要以上に怖がらず、適切な料理でもって家庭で安全に食べられるというような発信を行うことが大切ではないかと考える。</p>

委員 U	<p>保護者アンケートの問 12 の「あなたが参考にする内容で一番重要だと思うものは何ですか」で、原材料という答えが一番多いが、自分があちこちで聞いた話だと、むしろ原材料の見方が分からないという方が多かったことから、このアンケート結果には驚いた。</p> <p>また、インターネット等だと、アニサキスに関する情報のみとなり、恐怖心ばかりあおる記事が多いが、実はそれらを昔から安全に食べていたのがいわきの食文化でありその情報が重要でないかと考える。市や保健所で発信する公の情報をきちんと受取れていないことが一番の問題点ではないか。</p> <p>魚を捌けない人が結構いるが、最近は魚を捌くイベントが多いので、いわきの食に子ども達がもっと触れてもいいのではないかと思うので、そのあたりの周知も考えてほしい。</p>
委員長	その他、何か質問があれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

(2) 議事 (協議事項)

①第3次食育推進計画策定に向けたスケジュールについて

委員長	(2)協議事項①「第3次食育推進計画策定に向けたスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>(第3次食育推進計画策定に向けたスケジュールについて説明)</p> <p>○会議資料6により</p> <p>今年度のいわき市食育推進協議部会を本日、10月下旬で第3次食育推進計画のパブリックコメントへの実施に向けた協議、来年1月中旬は市長提言に向けた最終協議を行うこととして、3回を考えていることを説明した。</p>
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問があれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

②第3次食育推進計画の数値目標 (案) について

委員長	②「第3次食育推進計画の数値目標 (案) について」事務局より説明をお願いします。
-----	---

事務局	<p>(第3次食育推進計画の数値目標(案)について説明) ○会議資料7-1, 7-2により</p> <p>第3次食育推進計画の目標値について、第2次食育計画時の現状値(H25)、第2次食育目標値、国の第3次食育推進計画目標値を参考として、第3次食育推進計画の現状値と比較し、目標を達成することを念頭において目標値を設定した。</p> <p>ただ、問1の「食育に関心を持っている市民を増やす」で第2次食育計画の現状値74.7%と比較し、第3次食育推進計画の現状値が71.0%で低くなっているが、この部分は食育の根幹となる箇所であることから、第2次食育推進計画の目標値、国の第3次食育推進計画の目標値と同様の90%以上とした。</p> <p>その他問10の「農林漁業体験をした市民の数」で第2次食育計画が52.7%、第3次食育推進計画では37.0%と大幅に下がっており、こちらは、国の目標値である40%以上を目指そうということで、設定した。</p> <p>このように、事務局では以上のような考え方から、目標値を設定した。</p>
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問があれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

③意見交換

委員長	食育に関して、各団体での取り組みと、その状況、あるいは、取り組みが必要と感じる事、又、やろうとしている事について、各委員からの発言をお願いします。
委員 B	アンケートの青年期の朝の欠食について、若いうちは親元を離れて一人暮らしとなるが、朝ご飯を欠食している場合が多く、家庭を持つことによって、だんだん欠食率が低くなっていく。これからの将来を考え、青年期に対して食育に関する何かの策を講じた方が良いのではないか。
委員 A	<p>アンケート結果を見ると、小中学生は親がどうにかして、朝食をさせるが、思春期になると自分の意思や時間を持つことによって、朝食を食べなくなり、大学、社会人となっても同様に、朝食を食べないという習慣がついてしまう。それが、30代、40代になっても、朝食を食べられず、それにより生活習慣病となっている例を幾度も見てきている。60代になっても、朝食を食べない習慣をやめない人がいるので、思春期から、刷り込むように働きかけて、朝食を食べるようにしていければと思う。</p> <p>また、ゆっくりよく噛んで食べる人の割合を、早く食べる人</p>

	<p>が多い中で、どれだけ増やすことができるかという課題に対して、非常に漠然としているので、30回噛むとか具体的な事例を出さないと増えないのではないかと思う。</p> <p>原材料の見方が分からないという人が多い中、食品の安全性について知識があるという方が62%もあるということは、何を見てこの割合が出ているのか、その真意を探ってみたいと感じ、これからいろいろ勉強したいと思った。</p>
委員 E	<p>いわき短期大学で、6月ごろに生活アンケートを行っており、「朝食を摂っているか」、「自炊をしているか」、「自分は適正体重であるか」等を聞いている。これらの結果から、相関関係については確実ではないが、朝、欠食する生徒は準備が整わないためか、授業が休みがちになり単位を落とすという傾向があり、今後、どうやって朝食を摂り、学校でしっかり授業を受けさせることをどのようにすればよいか、学校での問題となっている。</p> <p>東日本国際大学に移って、14名の中国からの留学生を受け持っているが、中国では、加工食品で育っている人が多く、生の食材を触れない人が多いことから、今後、いわきの地元の食材に慣れさせるためにはどのようにすればよいか、課題となるので、お知恵があれば教えていただきたい。</p>
委員 H	<p>家庭では、学校では早寝早起き朝ごはんという教育がされており、朝ごはんは絶対食べるという教育を受けているので、朝ごはんを出せば食べるし、現在、息子に米を研がせることを教えており、これらについて、今後も継続していきたい。</p>
委員 I	<p>今回のアンケートでは高校生・思春期の朝食の欠食率が高いが、高校生は自分の意思を持って行動するので、特に女子生徒はダイエットのために朝食を抜く傾向がある。また、生活習慣が乱れていて、夜更かしをした結果、朝ごはんが食べられないという傾向もあるので、引き続き高校側としても食生活習慣を正すことが、自分の健康につながるということを教えていきたい。</p> <p>一方で、給食の献立を提供・食材を加工する現場にいる生徒は小中学生に教えたりすると、食に関する意識が高くなり、自分より小さな子に教えていくことで自分の生活も見直すことに繋がっており、そういう機会を与えていくことで、プラスに働くことから、今後も参加させていきたい。</p>
委員 G	<p>鹿島で、医療と商業者の連携事業ということで、「健康フェスタ」を過去3回実施し、今回は福島県のふるさと農林漁業体験支援事業ということで委託を受け、10月6日に実施する。</p> <p>小中学生40名を対象に、いわき市中央卸売市場の見学やお</p>

	<p>さかなマイスターからのおいしい魚の調理方法や食べ方、マグロの収穫等を実施する。</p> <p>自身の経験から、最初にいい物を食べさせると、好き嫌いに影響される場合もあるので、いい物を食べさせて、興味を持たせるようにすれば、嫌いにならないと思う。</p>
委員 K	<p>小学校でも食育に力を入れていて、小学校の子どもが3人いるが、1人あたり2回程度、夏休みの宿題で食事をつくるとあり、長男がカレーを作ったとき、みんなにおいしいと言ってくれたことが、長男にとって、とても自信となった。</p> <p>今後は自炊を含め、食に関していろいろ教えていかなければならないと思った。</p>
委員 O	<p>乳幼児相談の中で、離乳食に関する相談をするお母さんは熱心な方が多いが、素通りしてしまうお母さんは話を聞いてくれない傾向がある。</p> <p>小さい頃から噛むことをお母さんが、じっくり教えていかないと、小中学校・高校・大学となるたびに、よく噛まない習慣が身についてしまい、大人になってもよく噛まず、早食いにつながるのではないかと思う。</p> <p>スポーツ栄養の講話を行った際に、高校生に「白いお魚もいいけど、赤いお魚も食べてね」と話したら、「赤いお魚は何ですか。魚の名前が分かりません。」と言われ、栄養士として、食材等を含め食に関して、教えていないことを反省し、今後、教えていきたいと考えているので、皆さんの協力をお願いしたい。</p>
委員 P	<p>FMいわきでいわき市主催のいわきイチゴいわきネギフェスタというイベントのお手伝いをしたが、いわき市の人は食のイベントに多く参加していて、地元の食材にふれあう機会が多いのではないかと思う。</p> <p>今後、食育に関して、いわき市の皆さんに周知していけるようお手伝いをさせていただきたいと思う。</p>
委員 Q	<p>最近児童生徒の食習慣の乱れがあり、福島県では、肥満傾向となっており、17歳の男子生徒を除いて、全ての年代で全国平均を上回っているという結果が出ており、肥満に関する問題やまた、食文化の継承などの新たな課題があり、福島県教育委員会で「ふくしまっ子食育指針」で対応している。</p> <p>事務事業一覧で最後のNO.52で取り組んでいる事業が幼稚園から、小中学校、そして高校にかける様々な授業で展開している。6月と12月に「朝食について見直そう週間運動」を実施しており、食育に関していろいろ見直ししているため、今後も課題に対して、取り組んでいきたい。</p>

<p>委員 R</p>	<p>健康は規則正しい食生活、軽い運動と社会参加で成り立っているのではないかと思う。</p> <p>小中学校の先生と話す機会があり、中学校の弁当でコンビニ弁当をそのまま持ってくる児童がおり、先生がせめてタッパに移した方が良いのではと子どもに話した。</p> <p>朝の食事も牛乳をかけて食べるコーンフレイクのようなもので、栄養を摂るといふものもある。</p> <p>小学校で夏休みに入り、公民館で私たちボランティアが見守る中で子供たちが2時間を勉強している中で、すぐに疲れたという子ども達がおり、何で疲れているのかわからないが、疲れている子供が多い。</p> <p>食品ロスについて、ピープルで各家庭の使わない食材を募ったら1週間もたたないうちに大量の食材が集まった。今後、子ども食堂とかに出していくとのことから、各家庭には使わない食材があることを実感した。</p> <p>毎月19日の食育の日にマルトやヨーカ堂の一部を借り、郷土の魚料理として、さんまのポーポー焼き、カツオの揚げびだし、つみれ汁のレシピを載せたチラシを配って、皆さんにPRをしている。</p>
<p>委員 S</p>	<p>食を提供する側として、食に関する事故が増えており、アニサキス、アレルギー等が多くなっており、懸念事項となっている。</p> <p>カツオのアニサキスで腹痛を起こした事例はこれまでは、なかったが、今まで先人たちから教え引き継いできたことについて、これからは変えざるを得ないのかと思う。</p> <p>食に関する事故について、不特定多数で対応は難しいところはあるが、事故のないように関する取り扱いを変えざるを得ない。</p> <p>また、アニサキス等の事故があった場合の対処について、今後、どのようにするかを決めて行かなければならない。</p>
<p>委員 T</p>	<p>いわき農林水産ニュース5月号で菊田小学校児童が、田んぼでマコモダケの栽培を行った。最初は田んぼを怖がって恐る恐る行っていたが、慣れてくれば、楽しく苗植えを行っていた。</p> <p>6月が食育月間であり、食育活動を藤原幼稚園といわき農業青年クラブが食育サポーターを派遣する事業であり、その中で、まだ食育サポーターとして登録はしていないが、魚市場のおろし関係者で魚のさばき方を小中学生が教えたいという方がおり、そういう人をうまくマッチングしていければと思う。</p> <p>6月から、県産水産物の新鮮な魚を大手量販店に直送で、店頭並べ、県産水産物の安全性を消費者にPRしている。</p>

	<p>勿来で農作業中に熱中症で亡くなられている方がいることから、皆さんの気を付けてほしい。</p>
委員 U	<p>今まで、皆さんの話を聞いて、小さいときの食生活がこれからの食に関する全てが決まってくるようであるのではと思う。</p> <p>また、アンケートで20代から40代のお母さん世代が本当は80%以上の回答がなければならないのに、回答率自体が低くなっている。アンケート結果の現状値が高いのは、食に関する意識の高い人が多数回答している結果かもしれないと思います。</p> <p>自分の子どもにアレルギーを起こしたくないとの理由で乳製品等を食べさせたくないというお母さんが多いことや、また、食に関する相談を保健所等で相談してくれればよいのに、あまり相談したがない傾向があるので、若いお母さんに食に関する教育を行ったほうが良いのではと思った。</p>
委員 V	<p>アンケート結果について、保護者のアンケートで情報の入手先が新聞・テレビ・雑誌・インターネットからが一番多いが、心配なのは、そういった情報の真偽が分からないものや突拍子もない情報を一部の情報であると思うが、信じ込んでしまうことである。食に関する正確な情報は行政機関だと思うが、情報の入手先として、割合が低くなっており、幼稚園や小学校の配布物もあまり割合が高くなく、情報提供に関して、今後、何か講じなければならないと今回のアンケート調査を見て、感じた。</p>
委員 W	<p>周知徹底の件で、今回のアンケートについて、記者クラブ等のメディアを使って、周知してもらうのはどうか。</p> <p>市のHPも自分から積極的に見る人は少ないと思うので、こちらから積極的に周知を行った方がよいのではないかと。</p>
委員長	<p>その他として、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>
	<p>(質問、意見等なし)</p>
委員長	<p>その他として、事務局で何かあれば発言をお願いします。</p>
事務局	<p>次回の10月下旬を予定しており、今回頂戴した協議の内容を踏まえ、12月に予定しているパブリックコメント実施に向け、第3次食育推進計画(案)に関する協議を行っていく。</p>
委員長	<p>他になければ、本日の案件はすべて終了いたしました。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>
	<p>(委員会終了)</p>